

令和4年11月25日
東京都立東大和療育センター

新型コロナウイルスワクチンの誤接種について

東京都立東大和療育センター(以下、「当センター」という。)において、温度管理が適正でない新型コロナウイルスワクチンを誤って接種した事故が発生しましたので、お知らせします。

今後、このような事態が起こらないよう、再発防止に努めます。

1 誤接種した人数

33名

2 発生の経緯と対応

- 令和4年10月24日(月曜日)及び11月9日(水曜日)、当センターに配達されたワクチンについて、2～8度の温度で保管すべきところ、誤って超低温冷凍庫(-75度)で保管した後、当該ワクチンを通所利用者14名、外来受診者8名及び短期入所者2名の合計24名に誤接種した。
- 11月21日(月曜日)に配達されたワクチンについて、誤って超低温冷凍庫(-75度)で17分間保管した後、配送書に記載された保管温度の指示をみて温度管理が不適正であったことが発覚したにも関わらず、当該ワクチンを通所利用者3名、職員2名及び外来受診者4名の合計9名に誤接種した。
- 11月22日(火曜日)、当センターからの接種事故の報告を受けた東京都福祉保健局の指示により、直ちに当該ワクチンの使用を中止した。

3 温度管理が不適正となった原因

従来型のワクチンの保管方法(配達後は超低温冷凍庫で保管)と誤認し取り扱ったため。

4 本事故への対応

- 当センターより、33名の被接種者・御家族に連絡し誤接種について謝罪しました。被接種者の健康観察を行っており、現時点で健康被害の報告は受けておりません。引き続き経過観察を行ってまいります。
- 温度管理が不適正なワクチン在庫は廃棄予定です。他のワクチンについてはマニュアルに指定されたとおりの温度で保管されていることを確認しております。
- 当センターでは、今回の事故を踏まえ、新型コロナウイルスワクチンの保管管理等、安全管理体制が確立するまで、当面の間、新型コロナウイルスワクチンの接種を中止します。

- 新型コロナウイルスワクチン管理状況を再点検するとともに、冷蔵庫の管理方法、関係職員の連携及びチェック体制の見直しなど、再発防止策を策定し、安全が確認されましたら新型コロナウイルスワクチン接種を再開する予定です。
- 利用者及び外来患者の皆様には御迷惑と御心配をおかけしますが、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

〈参考 当センターの概要〉

当センターは、一般の医療機関では対応が難しい重症心身障害児・者等に対して医療を提供するとともに、入所・通所事業等を実施しています。

診療科目：小児科、神経内科、内科、リハビリテーション科、歯科、外科など 10 診療科

病床数：入所等 128 床

その他：通所 30 名（一日利用定員）

所在地：東京都東大和市桜が丘三丁目 44-10

事業運営：社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会が指定管理者として管理運営を受託しています。